


## 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	こしお あつし	
氏名	小塩 篤史	
所属・役職	神戸情報大学院大学 客員教授 株式会社 IF 代表取締役	
活動拠点	東京、兵庫	
略歴	<p>2005年 東京大学大学院新領域創成科学研究科 修士課程修了</p> <p>2008年 東京大学新領域創成科学研究科 博士課程 単位取得退学</p> <p>2008年 米国マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院 客員研究員</p> <p>2009年 東京大学政策ビジョン研究センター 特任研究員</p> <p>2011年 日本医科大学医療管理学教室 助教</p> <p>2014年 事業構想大学院大学 准教授</p> <p>2015年 カタリスト合同会社 代表社員</p> <p>2016年 事業構想大学院大学 教授・研究科長</p> <p>2017年 株式会社 IF 代表取締役</p> <p>2018年 事業構想大学院大学 客員教授</p> <p>2018年 アジア開発銀行 高度技術推進ファンド AI分野コンサルタント</p> <p>2019年 株式会社 I Cube 代表取締役</p> <p>2019年 株式会社 HYPERCUBE チーフイノベーションオフィサー</p> <p>2019年 神戸情報大学院大学 客員教授</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>データサイエンス・人工知能（機械学習・集合知）</p> <p>未来予測シミュレーション</p> <p>IoT や AI を含んだ最適システムのデザイン</p> <p>地理空間情報</p> <p>医療情報解析</p>	
自治体向け メッセージ	<p>特にヘルスケア領域を中心に、データサイエンス・人工知能を活用したプロジェクトを数多く実施してきました。その中で、地域づくりの重要性を切実に感じており、地域の個性をいかしたまちづくりをデジタル技術がどのように貢献可能か日々考えております。新しいスマートシティ・スマートタウンのあり方を皆様と共創したいと思っております。</p>	
関連URL	<p><a href="https://www.kic.ac.jp/">https://www.kic.ac.jp/</a></p> <p><a href="http://www.i-f.co.jp">www.i-f.co.jp</a></p> <p><a href="http://hyper-cube.co.jp/">http://hyper-cube.co.jp/</a></p> <p><a href="http://icube.biz/">http://icube.biz/</a></p>	

<p>地域情報化 に関する実績</p>	<p>これまでの経験業務・研究活動</p>
	<p>データサイエンス/AI・システムデザイン・教育等の観点から様々なプロジェクトや研究活動を実施している。</p> <p>(1) データサイエンス・人工知能 データサイエンスをベースに、地域の高齢化を予測する未来予測シミュレーターを開発し、自治体に活用いただいている。また、福島県・滋賀県において医療レセプトデータの分析もおこなっており、データ連携やビッグデータ解析の経験も豊富である。現在は、人工知能とIoTを組み合わせた知的IoTという概念を中心に、農業や漁業、まちづくりのデジタル化スマート化に取り組んでいる。</p> <p>(2) システムデザイン システム設計の観点からは、地域を横ぐしする地域PHRの構築や履歴管理システムなどを開発してきた。地域の全体最適をデザインするためのシステムデザインを目指して、電子カルテや地域情報システムの開発もおこなっている。</p> <p>(3) 教育 総務省でのG空間人材育成事業や各地の大学における技術経営に関する講義を通じて、地域の情報化の基盤となる人材育成に取り組んでいる。</p>
	<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p>
	<p>文部科学省 医療分野における電子タグ利活用実証実験 盛岡赤十字病院における血液製剤の履歴管理 2009年度 地域包括ケア支援・推進・評価するための情報・ケアネットワーク構築に資する調査研究事業（地域PHR構築のためのプロトタイプ構築）2012年度 文部科学省 バックキャスティングによる地域ケア事業構想のための基盤構築に係る研究 2014, 2015年度 総務省 G空間情報×宇宙技術利活用ビジネスコンテスト 審査委員長 2018年度 総務省 GeoHackers Program 基調講演 2019年度</p>